

2 - 5 江刺における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

国立天文台水沢

National Astronomical Observatory Mizusawa

立天文台水沢観測センターの江刺地球潮汐観測施設において1997年5月までに得られた地殻変動連続観測の結果を報告する。観測点の位置および観測計器の配置については、前報に示してある。前回の報告以後、江刺の精密連続観測に影響しそうな大きなイベントは周辺で発生しておらず、地殻変動はおおむね安定して推移した。ただし、水管傾斜計は機器改造・調整を施し、1996年9月に観測を再開したが、東西成分の一方（E側）のセンサー出力の安定性に問題があり、まだ解決に至っていない。そのため、今回の資料提出には水管傾斜計のデータはない。

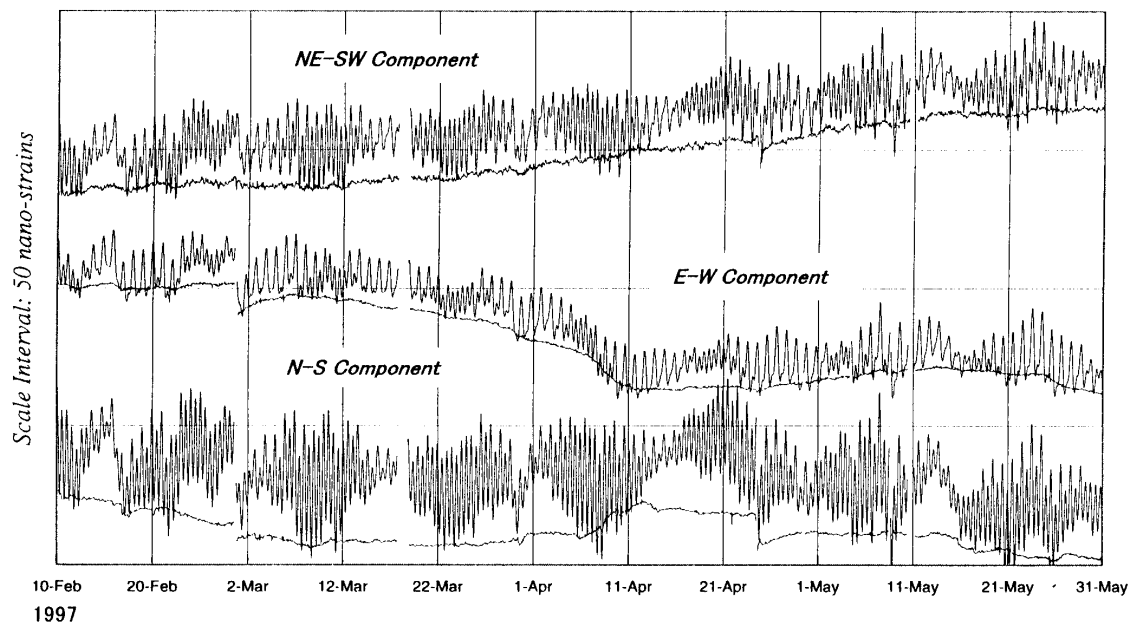
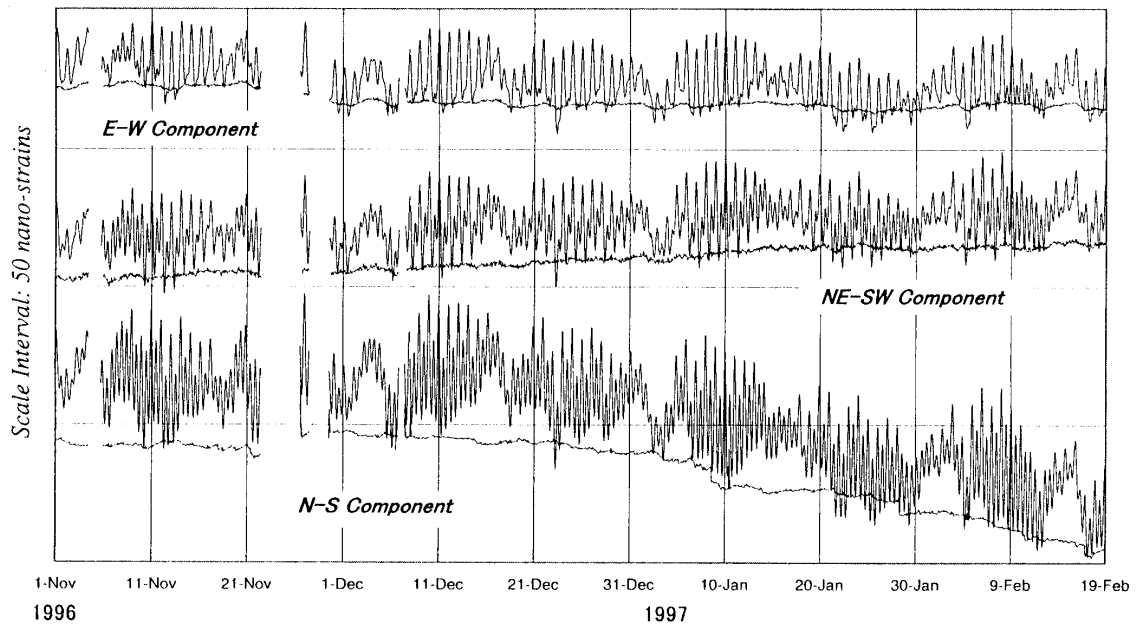
第1図には1996年11月1日以後の石英管伸縮計3成分の毎時実測値、およびそれらから潮汐と気圧の効果を除いたものを示す。

第2図は、伸縮3成分の毎日0時の値の変化である。最近の6ヶ月間の歪変化は、従来からの変化とほぼ同様に経過した。

第3図は江刺地球潮汐観測施設の北方約1kmの江刺GPS観測点と水沢観測センター屋上とに設けた固定アンテナ間で行っているGPS干渉測位の結果である。基線長が短いこともあり、現在までにまだ有意な変化は見いだされていない。

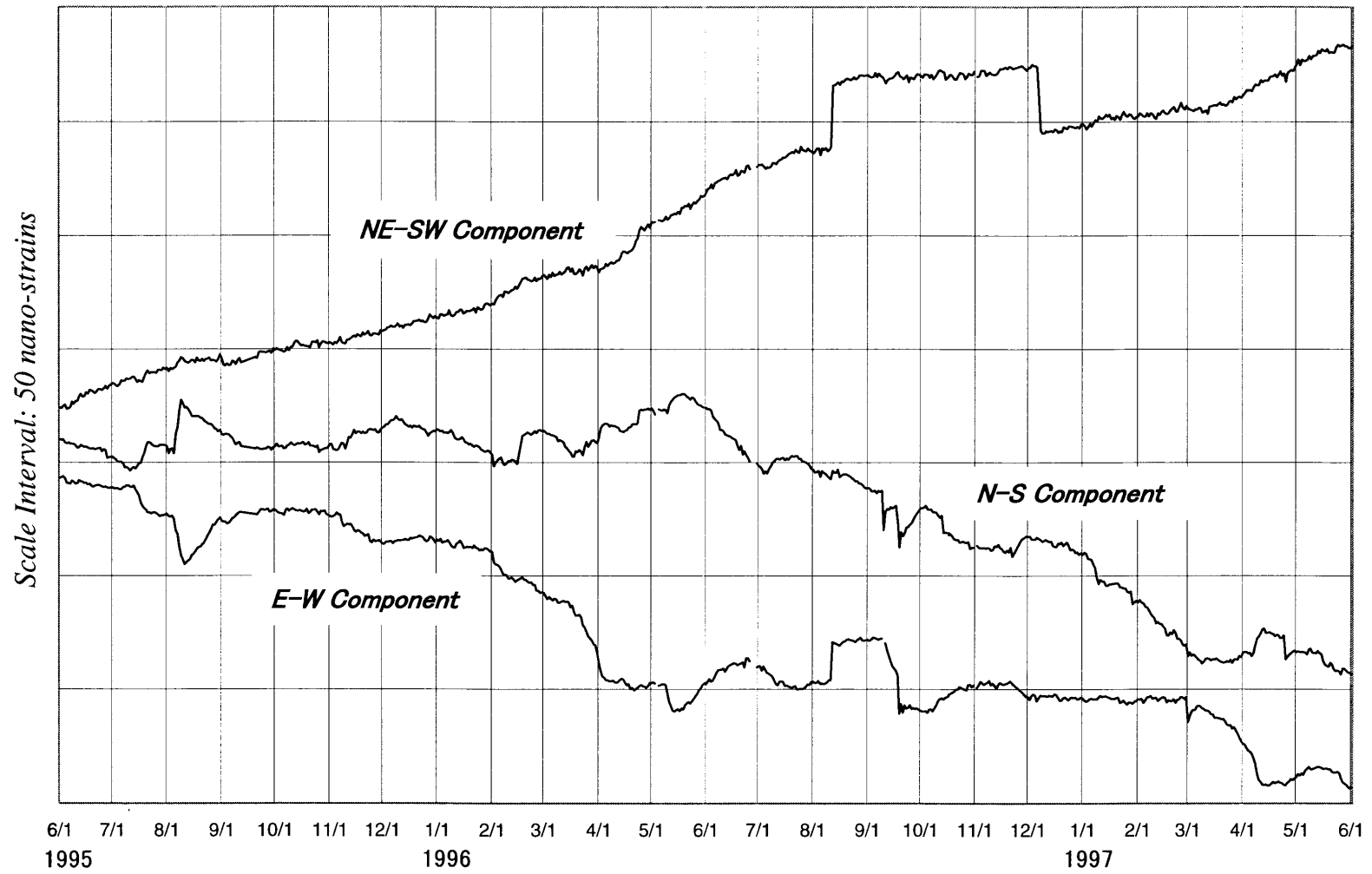
参 考 文 献

- 1) 国立天文台水沢：江刺における地殻変動連続観測，連絡会報，57（1997），127-131.



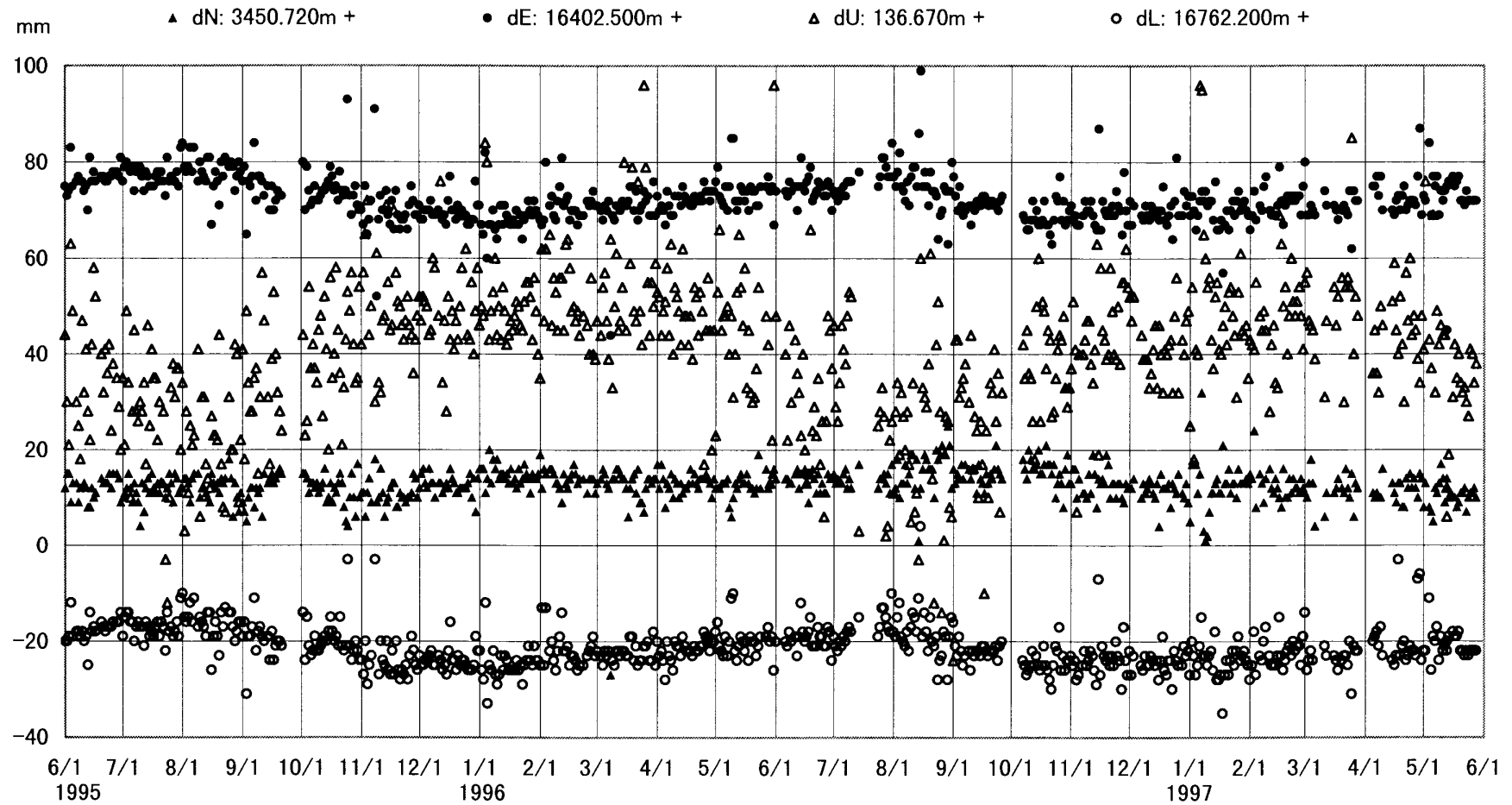
第 1 図 1996 年 11 月以後の石英管伸縮計の毎時値および潮汐・気圧の効果を除いた値の変化

Fig. 1 locations of observation sites.



第 2 図 最近 2 年間の伸縮 3 成分の毎日 0 時値の変化

Fig. 2 Hourly changes of ground strain with quartz - tube extensometers and those corrected for the effects of earth tides and air pressure.



Receivers: Trimble 4000SSE Software: GPSurvey 1.20/2.0/2.2 Observations: 13h-19h UT every day

第3図 最近2年間の水沢 - 江刺基線のGPS干渉測位による基線各成分の変化

Fig. 3 Time variation of each component of strain at 0h (Jap. Std. Time) every day.